

「第45回全国中学生人権作文コンテスト」四国中央地区大会実施要領

1 主 催

松山地方法務局四国中央支局、四国中央人権擁護委員協議会

2 後 援

東予地域人権啓発活動ネットワーク協議会

3 趣 旨

次代を担う中学生が人権問題について作文を書くことによって、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身に付けること、及び入賞作品を国民に周知広報することによって、広く一般に人権尊重思想を根付かせることを目的とする。

4 応募規定

(1) 対 象

四国中央市内の中学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部に在学する生徒並びに外国人学校に在学する者で中学生に準ずる生徒

なお、国外にある日本国内の中学校と同等の教育を行う日本人学校等に在学する生徒から応募があった場合の取扱いについては、主催者において判断する。

(2) 作文の内容

日常の家庭生活、学校生活、グループ活動あるいは地域社会との関わりなどの中で得た体験等を通じて、基本的人権の重要性、必要性について考えたことなどを題材としたものとする。

(3) 応募原稿の枚数

学校名、氏名、題名を除いて、400字詰原稿用紙5枚以内とする。外国語で作文を作成した場合又は視覚に障害があり、点字若しくは録音テープで作文を作成した場合には、それぞれ400字詰原稿用紙5枚以内の翻訳文、墨字又は反訳文とする。

なお、5枚を超えた場合は、審査の対象とならない。

(4) 作文の様式

提出する作文については、手書き、パソコン等で作成したものいずれも可とする。

(5) その他

作文の創作に当たっては、上記3の趣旨及び(2)の内容に沿ったものとする。

特に、以下の点に注意すること。

ア 応募作文は、未発表のものに限る。

※ 未発表とは、他のコンテスト等に応募していないこと、又は作品集・ホームページ等で一般に公表されていないことをいう。

イ 盗作や不適切な引用等、既に発表済の著作物を不正に利用した作文を提出したものと認められた場合は、審査の対象とならない。

ウ 生成AIの利活用等により自己の体験等や考察に基づくことなく創作した文章を自己の作文として提出したものと認められた場合は、審査の対象とならない。

5 応募方法

(1) 学校による応募作品の取りまとめ

応募作品の取りまとめは、学校ごとに行うものとする。

各中学校等は、生徒から提出された作品を、別紙「四国中央地区大会応募作品送付書」とともに、下記(3)の送付先に提出するものとする。

なお、中学校等は、作品の提出に当たり、作品の事前審査や代表作品の選出を行う必要はないものとする（ただし、自主的に作品の内容確認等をする際に、事実上の事前審査を行うことを妨げるものではない。）。

(2) 応募締切日

令和8年9月3日（木）松山地方法務局四国中央支局必着

(3) 送付先及び連絡先

〒799-0405 四国中央市三島中央五丁目4番31号

松山地方法務局四国中央支局（担当：板谷、玉井）

TEL 0896-23-2407

6 表彰等

(1) 審査会

四国中央地区大会審査会における審査により、上記5(1)における応募作品の中から最優秀賞、優秀賞及び奨励賞の各賞を決定する（最優秀賞（2編程度）、優秀賞（4編程度）、奨励賞（若干編））。

(2) 表彰状及び副賞

入賞者には表彰状及び副賞を授与する。

(3) 入賞発表

審査会終了後に、各学校に審査結果を通知するものとする。

なお、入賞作品の応募者に対しては、所属校を経由して通知するものとする。

(4) 参加賞

応募者全員に参加賞を贈呈する。

7 愛媛県大会への推薦

地区大会主催者は、愛媛県大会実施要領（松山地方法務局ホームページに掲載）に基づき、入賞作品の一部を愛媛県大会に推薦するものとする。

なお、令和8年12月に愛媛県大会の表彰式を行う予定である。

8 応募に当たっての注意事項等

(1) 応募作品は、返却しない。

- (2) 応募作品の著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は、主催者に帰属するものとする。
- (3) 応募者の個人情報、応募作品の審査や本コンテストに関する連絡のため、必要な範囲でのみ使用する。
- (4) 入賞作品については、応募者及びその保護者の同意を得た上で、一般に公表することを予定しているため、公表を希望しない作品については応募することができない。
- また、作品中に登場する人物（応募者本人以外の第三者〔親族を含む。〕）について、個人の特定が可能であると認められる場合に、当該個人から作品を公表することについての承諾が得られないときも同様とする。
- ・公表部分：学校名、学年、氏名（下記(5)の場合を除く。）、題名及び本文
 - ・公表方法：法務局ホームページ、作品集・ポスターへの掲載、新聞、自治体広報紙、テレビ・ラジオによる報道等（予定）
- (5) 作品の公表に当たって、応募者の意向に応じて、「学校名」、「学年」、「氏名」を非公表とすることがある。
- (6) 作品の公表に当たっては、作品の趣旨を損なわない範囲で一部修正することがある。
- (7) 応募作品について、転載等を希望する場合は、事前に上記5(3)の連絡先に連絡する。

「第45回全国中学生人権作文コンテスト」四国中央地区大会 応募作品送付書

学校名： _____

担当教諭名： _____

学校長名： _____

電話番号： _____

応募作品数： _____

FAX番号： _____

※学校に提出のあった全作品数を記載

メールアドレス： _____

応募作品一覧表

(※法務局宛てに送付される全ての作品について、作品名、学年、氏名等を記載してください。
作者氏名は、入賞した際の賞状の作成に利用しますので、俗字等字体に注意し、記載してください。)

	作品名 (ふりがな)	学年	氏名 (ふりがな)	非公表希望 (以下の番号を記載) ①全て公表可 ②氏名のみ非公表 ③学年及び氏名を非公表 ④学校名、学年及び氏名を非公表
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

※本送付書は、松山地方法務局のホームページ (<https://houmukyoku.moj.go.jp/matsuyama/>) からダウンロード可能です。

